

1. 本園の保育方針と保育目標

- 保育方針
 - ・心と身体を健やかに育て、その可能性を引き出す生活と教育の場
 - ・父母が安心して働ける保障の場・職員が学び生き生きと働く場
- 保育目標
 - ・健康な子ども
 - ・仲間を大切にし、自分も大切にすること
 - ・心ゆたかな子ども
 - ・仲間と一緒に考え、力を合わせる子ども
 - ・自分のことは、自分でできる子ども

2. 園としての今年度の課題

- 保育の質の維持向上
- 人材育成、人材の定着、人材確保
- 保護者との関係づくり
- 感染症対策

3. 2の課題にどのようにとりくんだのか？

○保育の質の維持向上

- ①保育所給食での窒息事故や不適切な保育などの報道を受けて、改めて離乳食についての確認や横浜市の園内研修用動画を用いて職員間で話し合いを複数回行い、リフレーミングの視点、自己の振り返り、他者に対するアプローチの方法など多角的な視点を持つ機会になりました。
- ②頻繁に起きている自然災害に備え、避難訓練は基より今年度は、防災研修の講師を呼び搬送訓練（人、毛布、担架）や実際に火を起こしての消火訓練を行いました。良い経験になりました。
- ③園内研修では、経験年数ごとに今の自分の役割や課題を出し合い、実際の場面を想定して実践することで保育の質の向上につなげることができました。

○保護者との関係づくり

- ①コロナ禍の影響で保護者と子どもの姿の共有が難しい状況が続いていましたが、今年度は、行事を全クラスで開催、わかばまつり、父母会行事の再開など時間の制限を残しつつも同じ時間を過ごすことが出来ました。
- ②子どもの送迎時に日常の姿を伝え合うだけでなく、行事では、子どもの姿と一緒に喜びあうことができました。

○人材育成、人材の定着、人材確保

- ①外部研修、キャリアアップ研修では、個人の実践的な技術の向上や知識の習得に繋がりましたが、園全体への共有は十分にできませんでした。
- ②期のまとめでの、個人の振り返りを通して、各保育士の悩みや課題を他の職員と共有することで相談にのり、不安の解消につながりました。
- ③各ミーティングや会議で、クラスの保育・子どもの姿・悩みなど、職員同士で共有を計り、園長、主任も参加しアドバイスを行い、クラス運営を、園全体で対応することで担任のみに負担がいかないようにしました。定期的に行うことで、「次は、こうしてみよう」等実践につなげることが出来ました。
- ④大変な時、悩んだ時に、気にかけて声を掛けてくれる職員がたくさんいることで、人材の定着に繋がっています。

○感染症対策

新型コロナウイルス感染拡大防止の為に学んだ消毒方法をそのまま継続し、その他の感染症に対しても有効になっています。

4. 次年度の課題や改善点

- 保育の質の維持向上
- 人材育成、人材の定着、人材確保
- 保護者との関係づくり
- 地域に開かれた子育て支援
- 職員の働き方改革（仕事の明文化を行い、仕事内容を厳選していく）